

今冬の電力需給対策について(案)

関西広域連合では、関西電力管内における今冬の電力需給見通しについて、関西電力株式会社が国に提出した資料等をもとに、専門家の意見も伺いながら検討を行った。その結果、電力需給が逼迫する恐れは低いと考えられるが、定着していると想定した節電量が着実に実施されることや、発電施設が大きなトラブルなく稼働することが前提となっている。

関西広域連合としては、今冬を通じて電力需給が逼迫することのないよう、国や関西電力と協力し、特に家庭や業務用（民生部門）に対し、着実な節電・省エネを呼びかけていく。

また、関西電力に対し、電力需給の安定に向けた一層の取組の推進を要請する。

1 関西電力管内における今冬の節電のお願い

- 期間：平成25年12月2日（月）～平成26年3月31日（月）の平日

（年末年始12月30日～1月3日を除く）

- 時間：9：00～21：00

- 内容：昨年同様の着実な節電の実施

《昨年と同様に平成22年度冬と比べて6%削減を目安》

エアコンの適切な温度設定（※）やこまめな消灯、パソコン等OA機器の省エネ設定など、無理のない節電を実施していただくことで昨冬と同様の節電が実施できます。

（※）家庭 20℃、業務系 19℃

- 留意事項

- ・ 産業活動や病院、鉄道などのライフライン機能、都市機能等の維持に支障を生じない範囲での協力をお願いします。
- ・ 高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、健康上支障のない範囲での節電をお願いします。

- ※ 関西広域連合としては、関西の府県民や事業者の皆様に、省エネ型ライフスタイルへの転換に向けて、継続して節電・省エネに取り組んでいただけるよう、幅広く啓発活動を行う。

2 関西電力への要請

- 火力発電機の巡回点検の強化など、発電施設のトラブルリスクの低減に万全を期すること
- 電力需給に関する情報提供など、最大需要の抑制につながる取組を推進すること
- 需給が厳しくなると想定される場合には、他電力会社からの追加融通など、安定した供給力の確保に万全を期す一方、かかる調整コスト等を安易に利用者に転嫁しないよう最大限の努力を行うこと

平成25年10月24日

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸 敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂 吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田 由紀子
委員	京都府知事	山田 啓二
委員	大阪府知事	松井 一郎
委員	鳥取県知事	平井 伸治
委員	徳島県知事	飯泉 嘉門
委員	京都市長	門川 大作
委員	大阪市長	橋下 徹
委員	堺市長	竹山 修身
委員	神戸市長	矢田 立郎